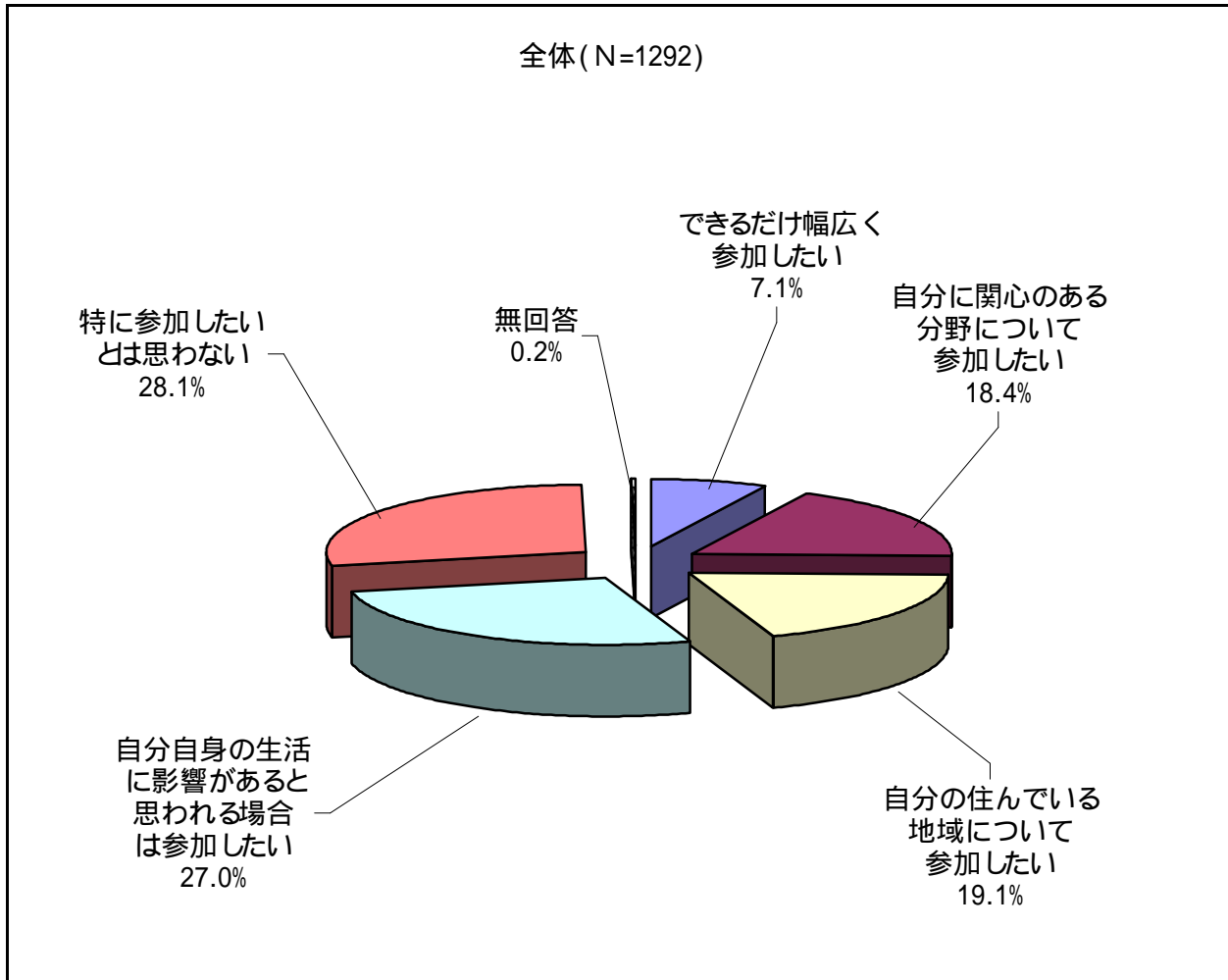


# 市民自治・わかりやすい情報提供

## まちづくりへの参加意向

問2 2 あなたは、まちづくりに参加したいと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに1つをつけてください。

まちづくりとは、社会や地域の課題などを解決し、暮らしやすいまちを実現していくための活動をいいます。例えば町内会やボランティアなどによる地域の清掃活動やリサイクル活動、交通安全や防犯防災、高齢者や子どもの見守り、子育て支援などの取り組みなどがあります。



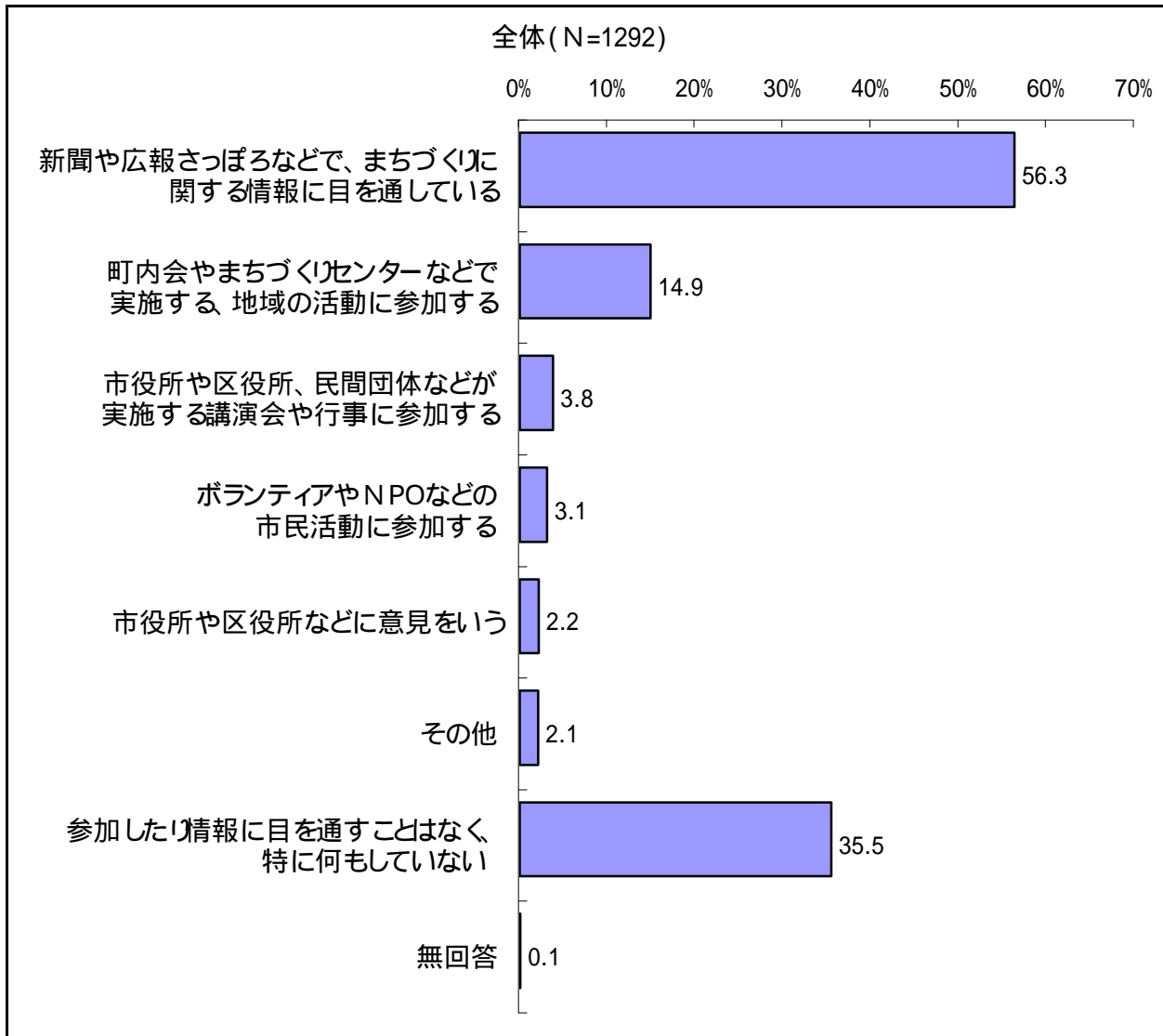
まちづくりへの参加意向について、「自分自身の生活に影響があると思われる場合は参加したい」が27.0%で最も高く、次いで「自分の住んでいる地域について参加したい」が19.1%、「自分に関心のある分野について参加したい」18.4%、「できるだけ幅広く参加したい」7.1%と続いている。これらを合わせた“参加したい”は71.6%となっている。

これに対して、「特に参加したいとは思わない」は28.1%となっている。

まちづくりへの参加意向について、“参加したい”は71.6%、“特に参加したいとは思わない”は28.1%。

## まちづくりへの関与

問 2 3 現在、あなたはまちづくりにどのように関わっていますか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。

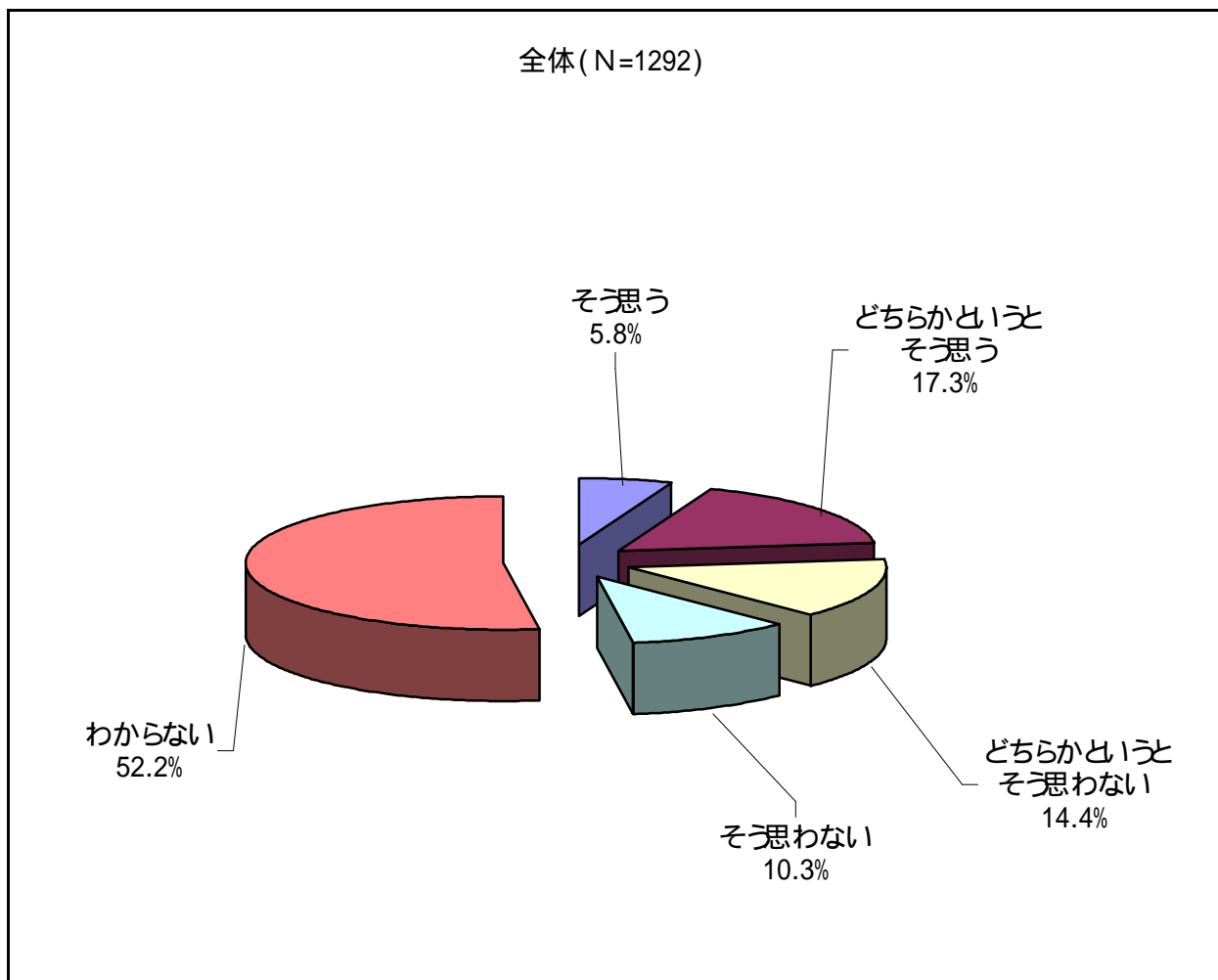


現在のまちづくりへの関与は、「新聞や広報さっぽろなどで、まちづくりに関する情報に目を通している」が56.3%で最も高く、次いで「町内会やまちづくりセンターなどで実施する、地域の活動に参加する」が14.9%、「市役所や区役所、民間団体などが実施する講演会や行事に参加する」が3.8%と続く。

現在のまちづくりへの関与は、「新聞や広報さっぽろなどで、まちづくりに関する情報に目を通している」が56.3%、「特に何もしていない」が35.5%。

## 札幌市は意見や提案を出しやすいまちか

問24 あなたは、札幌市は意見や提案を出しやすいまちだと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに1つをつけてください。



札幌市は意見や提案を出しやすいまちかについては、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた“そう思う”が23.1%となっている。

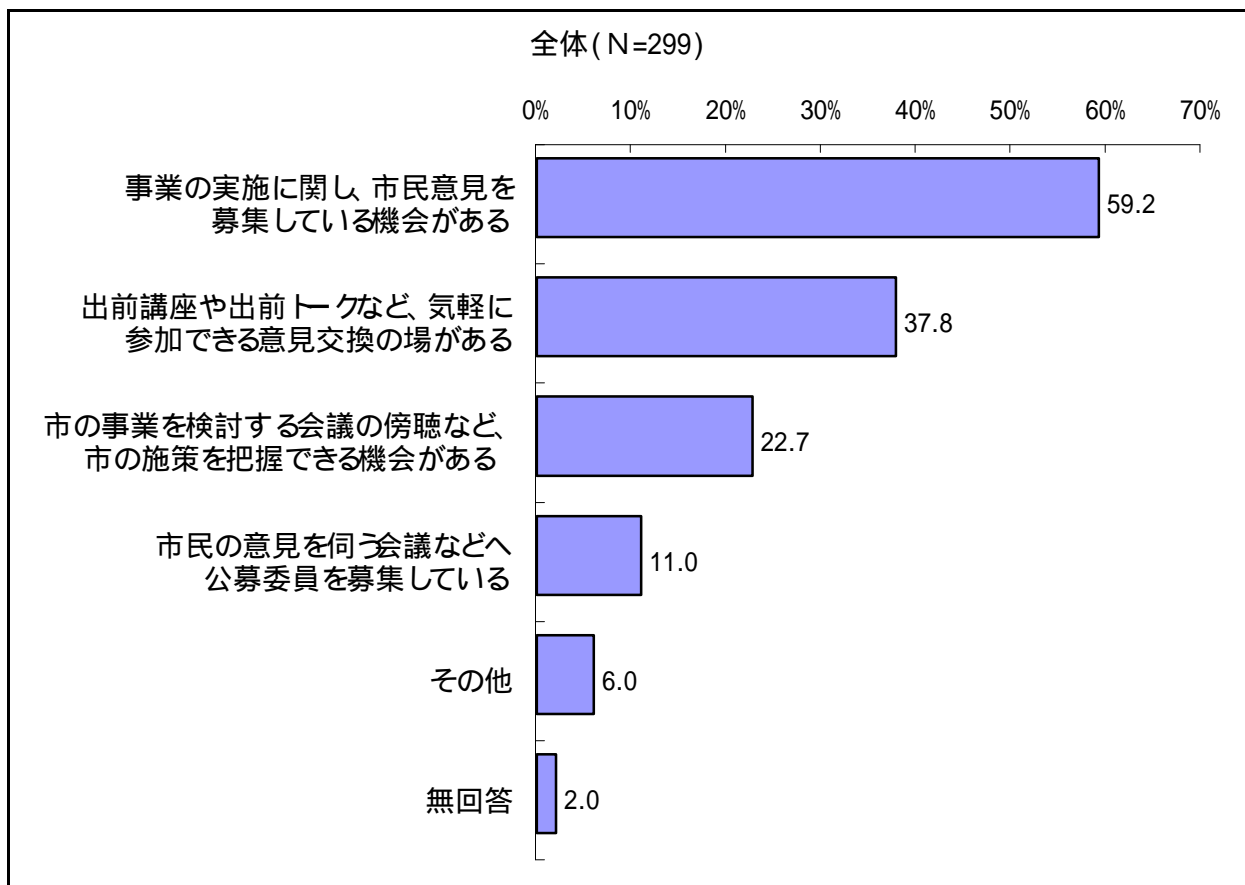
これに対して「そう思わない」「どちらかというそう思わない」を合わせた“そう思わない”は24.7%となっている。

札幌市は意見や提案を出しやすいまちかについては“そう思う”が23.1%、“そう思わない”が24.7%。

## 意見や提案を出しやすいまちと思う理由

《問24で「1 そう思う」、「2 どちらかというと思う」と答えた方にお聞きします》

問24の1 どのような点で、そう思いますか。次の中から、あてはまるものに  
いくつでも をつけてください。



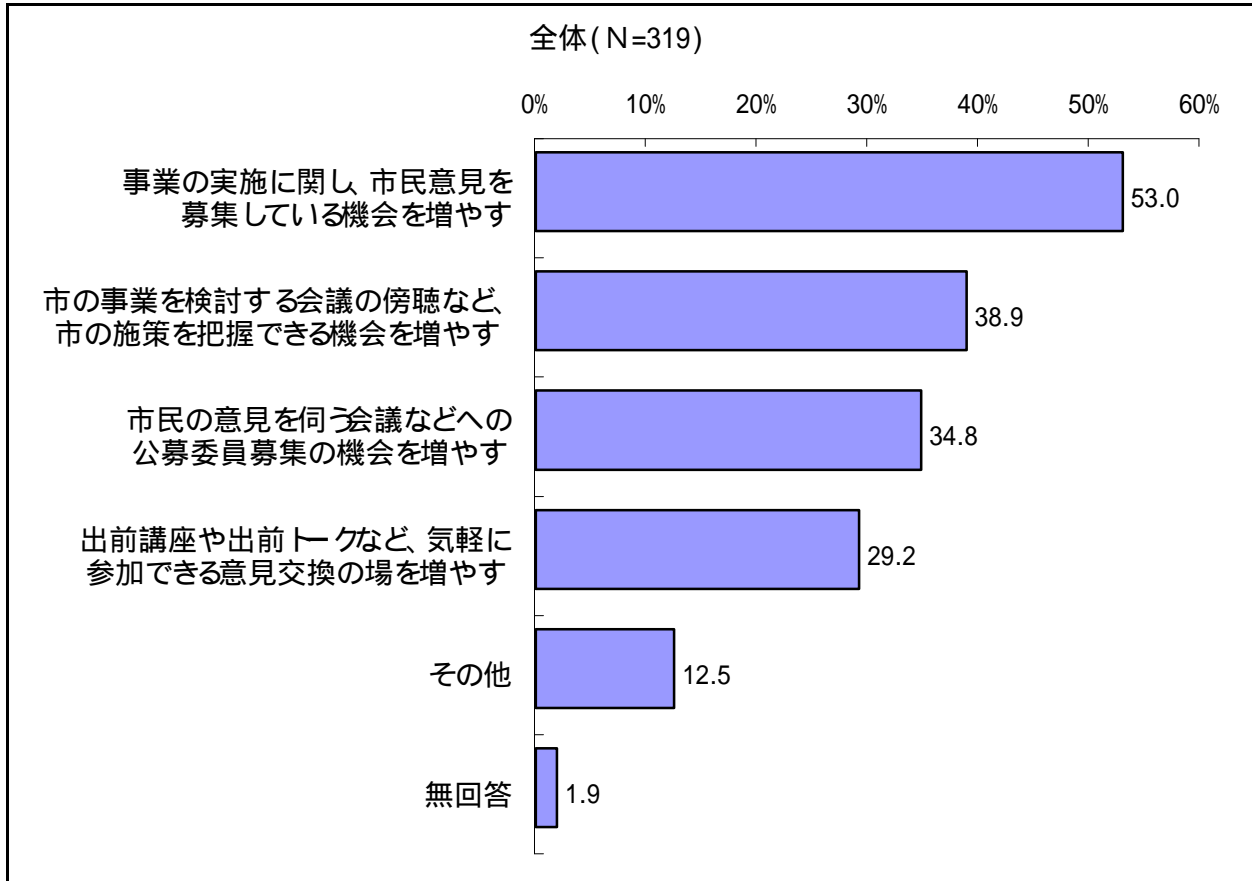
意見や提案を出しやすいまちと思う理由は、「事業の実施に関し、市民意見を募集している機会がある」が59.2%で最も高く、次いで「出前講座や出前トークなど、気軽に参加できる意見交換の場がある」が37.8%、「市の事業を検討する会議の傍聴など、市の施策を把握できる機会がある」が22.7%と続く。

札幌市が意見・提案を出しやすいまちと思う理由は、「事業の実施に関し、市民意見を募集している機会がある」が59.2%。

## 市政に参加しやすいまちにするための改善方法

《問24で「3 どちらかというと思わない」、「4 そう思わない」と答えた方にお聞きします》

問24の2 どのように改善すれば、市政に参加しやすいまちになると思いますか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください

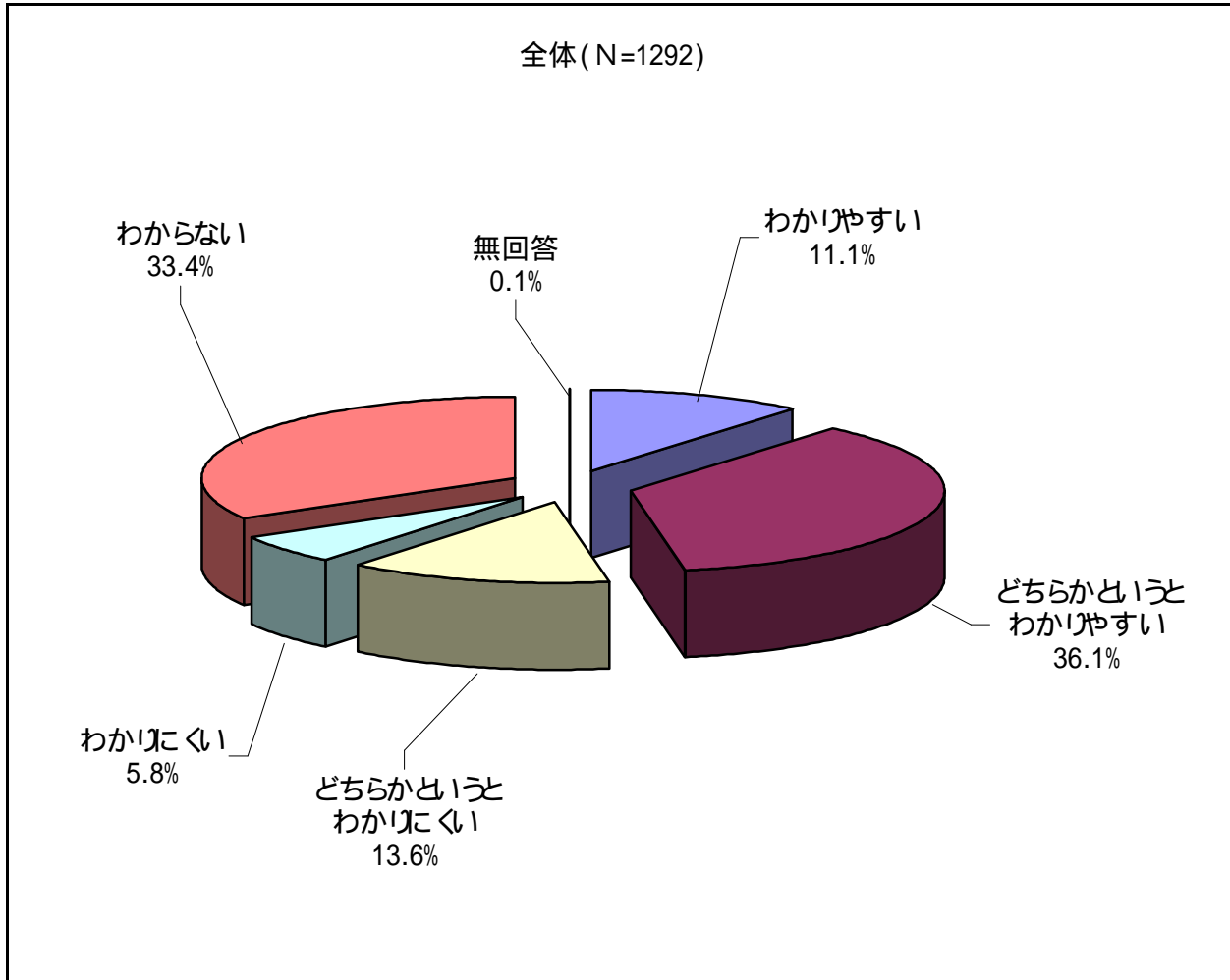


市政に参加しやすいまちにするための改善方法は、「事業の実施に関し、市民意見を募集している機会を増やす」が53.0%で最も高く、次いで「市の事業を検討する会議の傍聴など、市の施策を把握できる機会を増やす」が38.9%、「市民の意見を伺う会議などへの公募委員募集の機会を増やす」が34.8%と続く。

市政に参加しやすいまちにするための改善方法は、「事業の実施に関し、市民意見を募集している機会を増やす」が53.0%。

## 札幌市の情報提供のわかりやすさ

問25 あなたは、札幌市から提供される情報はわかりやすいと思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものに1つをつけてください。



札幌市の情報提供のわかりやすさは、「わかりやすい」と「どちらかというわかりやすい」を合わせた“わかりやすい”が47.2%。

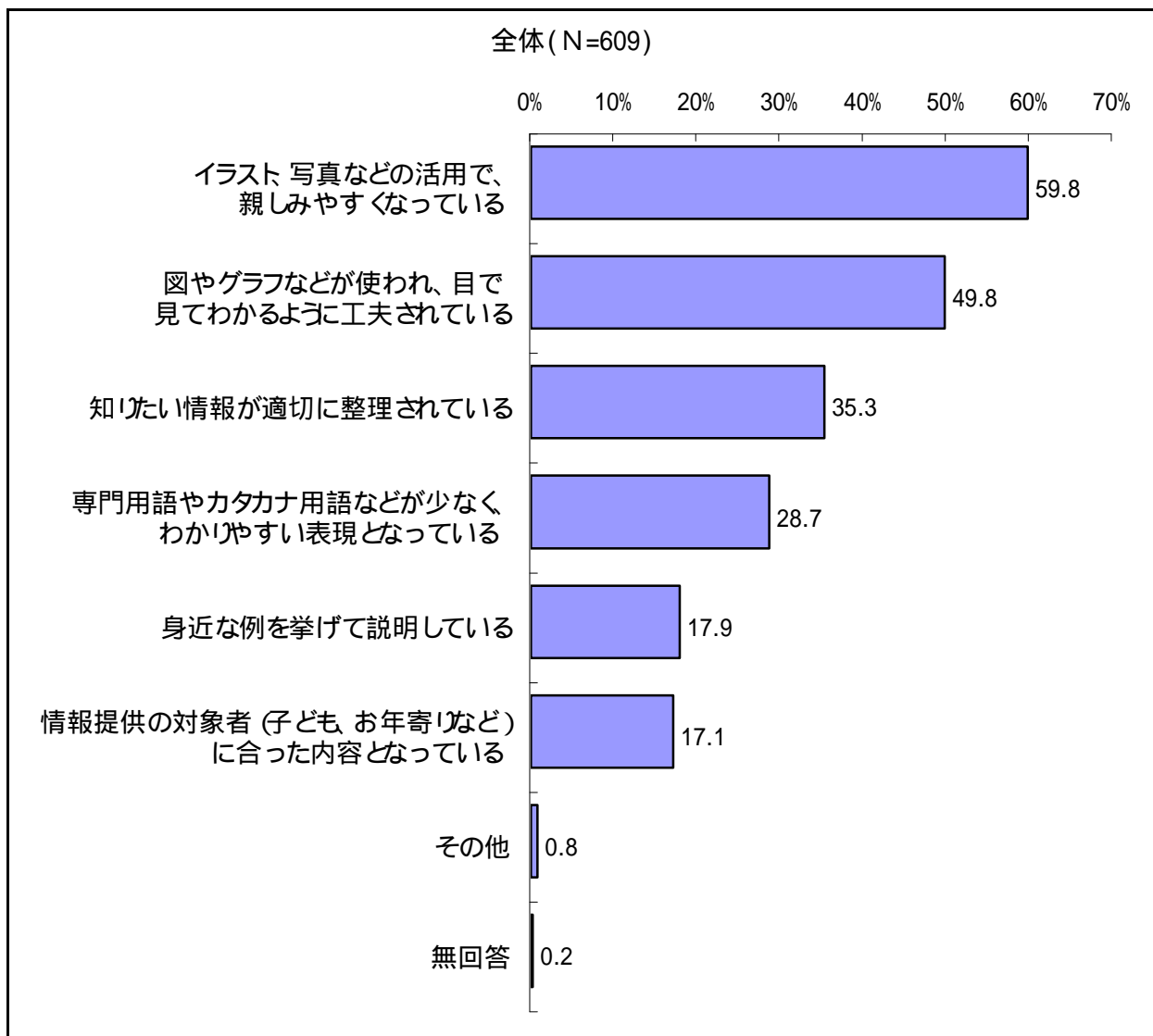
これに対して「わかりにくい」「どちらかというわかりにくい」を合わせた“わかりにくい”が19.4%となっている。

札幌市の情報提供のわかりやすさは“わかりやすい”が47.2%、“わかりにくい”が19.4%。

## 情報提供がわかりやすいと思う理由

《問25で「1 わかりやすい」、「2 どちらかというわかりやすい」と答えた方にお聞きします》

問25の1 あなたは、どのような点でそう思いますか。次の中から、あてはまるものいくつかをつけてください。



札幌市の情報提供がわかりやすいと思う理由は、「イラスト、写真などの活用で、親しみやすくなっている」が59.8%で最も高く、次いで「図やグラフなどが使われ、目で見えてわかるように工夫されている」が49.8%、「知りたい情報が適切に整理されている」が35.3%と続く。

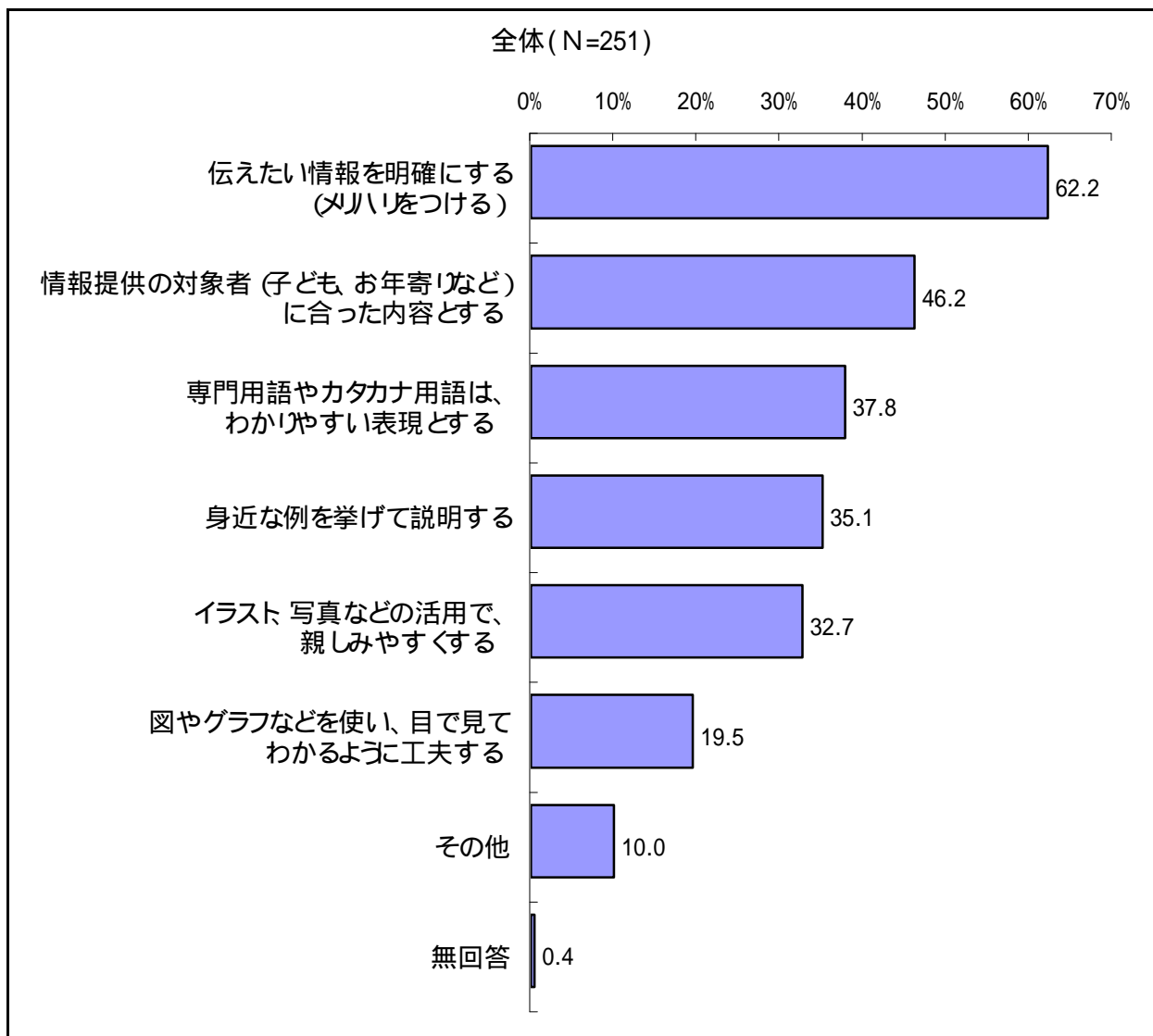
わかりやすいと思う理由は、「イラスト、写真などの活用で、親しみやすくなっている」が59.8%。

## 情報提供をわかりやすくするための改善方法

《問24で「3 どちらかというとなりにくい」、「4 なりにくい」と答えた方にお聞きします》

問25の2 あなたは、どのように改善すればわかりやすくなると思いますか。

次の中から、あてはまるものいくつかをつけてください。



札幌市の情報提供をわかりやすくするための改善方法は、「伝えたい情報を明確にする (メリハリをつける)」が62.2%で最も高く、次いで「情報提供の対象者 (子ども、お年寄りなど) に合った内容とする」が46.2%、「専門用語やカタカナ用語は、わかりやすい表現とする」が37.8%と続く。

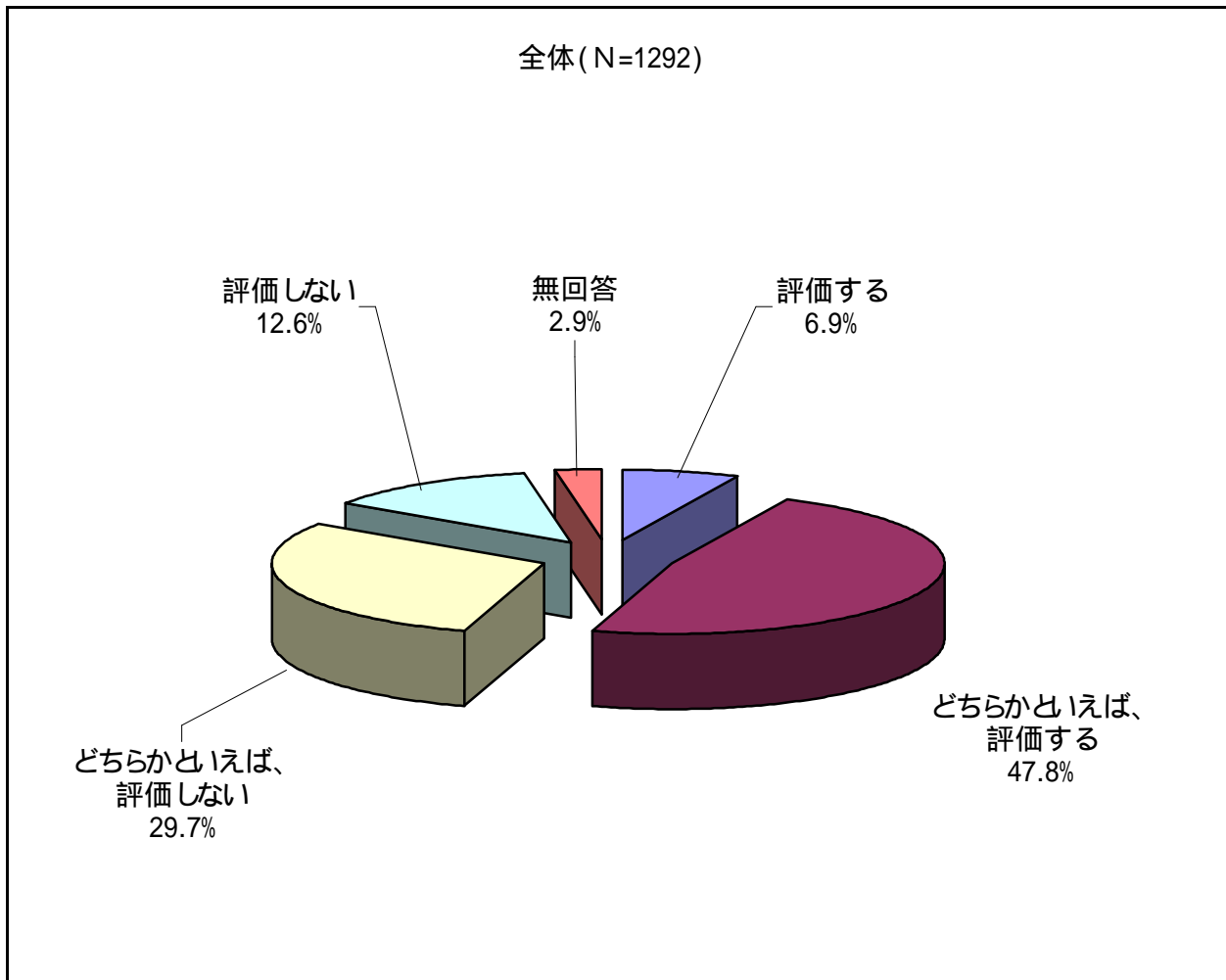
わかりやすくするための改善方法は、「伝えたい情報を明確にする (メリハリをつける)」が62.2%。



# 行財政改革

## 行財政改革に対する評価

問 2 6 行財政改革の取り組みについて、あなたはどのように感じていますか。次の中から、最も近いものに1つ をつけてください。



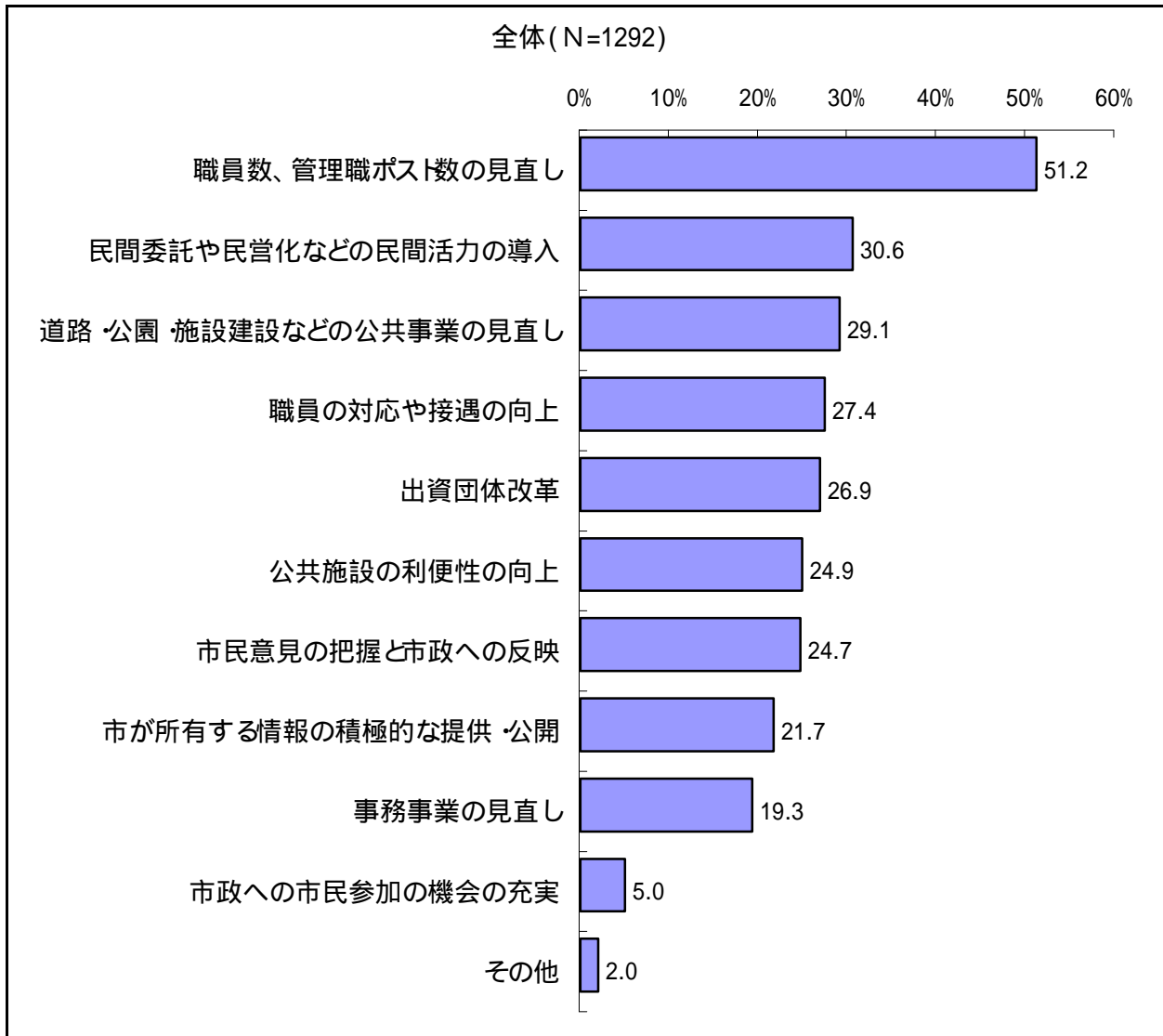
行財政改革に対する評価は、「評価する」と「どちらかといえば、評価する」を合わせた“評価する”が54.7%となっている。

これに対して「評価しない」と「どちらかといえば、評価しない」を合わせた“評価しない”が42.3%となっている。

行財政改革に対する評価は、「評価する」「どちらかといえば、評価する」を合わせた“評価する”が54.7%。

## 行財政改革に関する要望

問27 行財政改革に関することについて、具体的にお聞きします。次の中から「積極的に進めてほしい」と思うことに3つまで をつけてください。



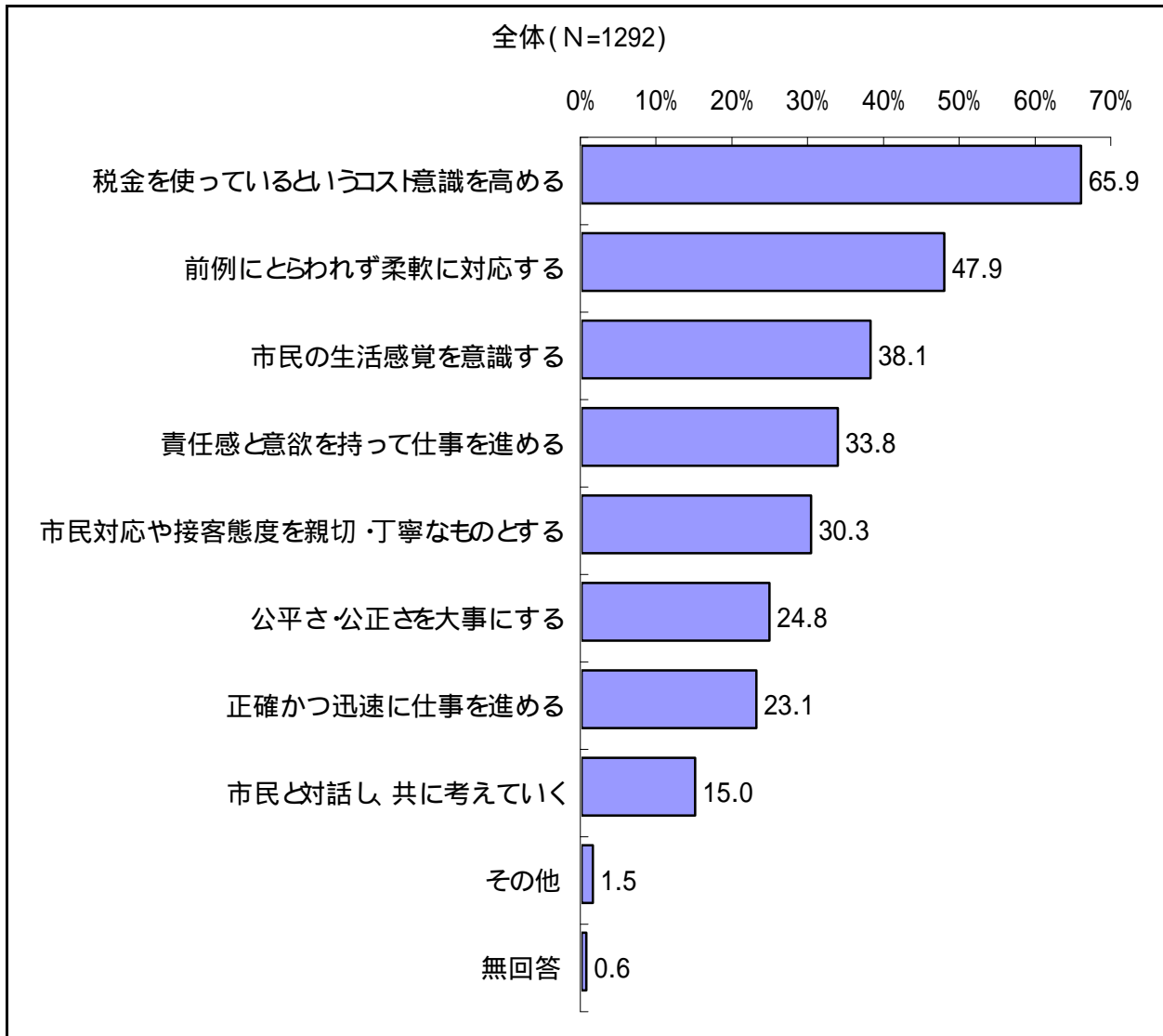
出資団体：札幌市が資本金を出資している法人のこと

行財政改革に関する要望は、「職員数、管理職ポスト数の見直し」が51.2%で最も高く、次いで「民間委託や民営化などの民間活力の導入」が30.6%、「道路・公園・施設建設などの公共事業の見直し」が29.1%と続く。

行財政改革に関する要望は、「職員数、管理職ポスト数の見直し」が51.2%。

## 市職員の仕事への取り組み方で重要と思うこと

問 2 8 市職員の仕事への取り組み方について、あなたが特に重要と思うことは何ですか。次の中から3つまで をつけてください。



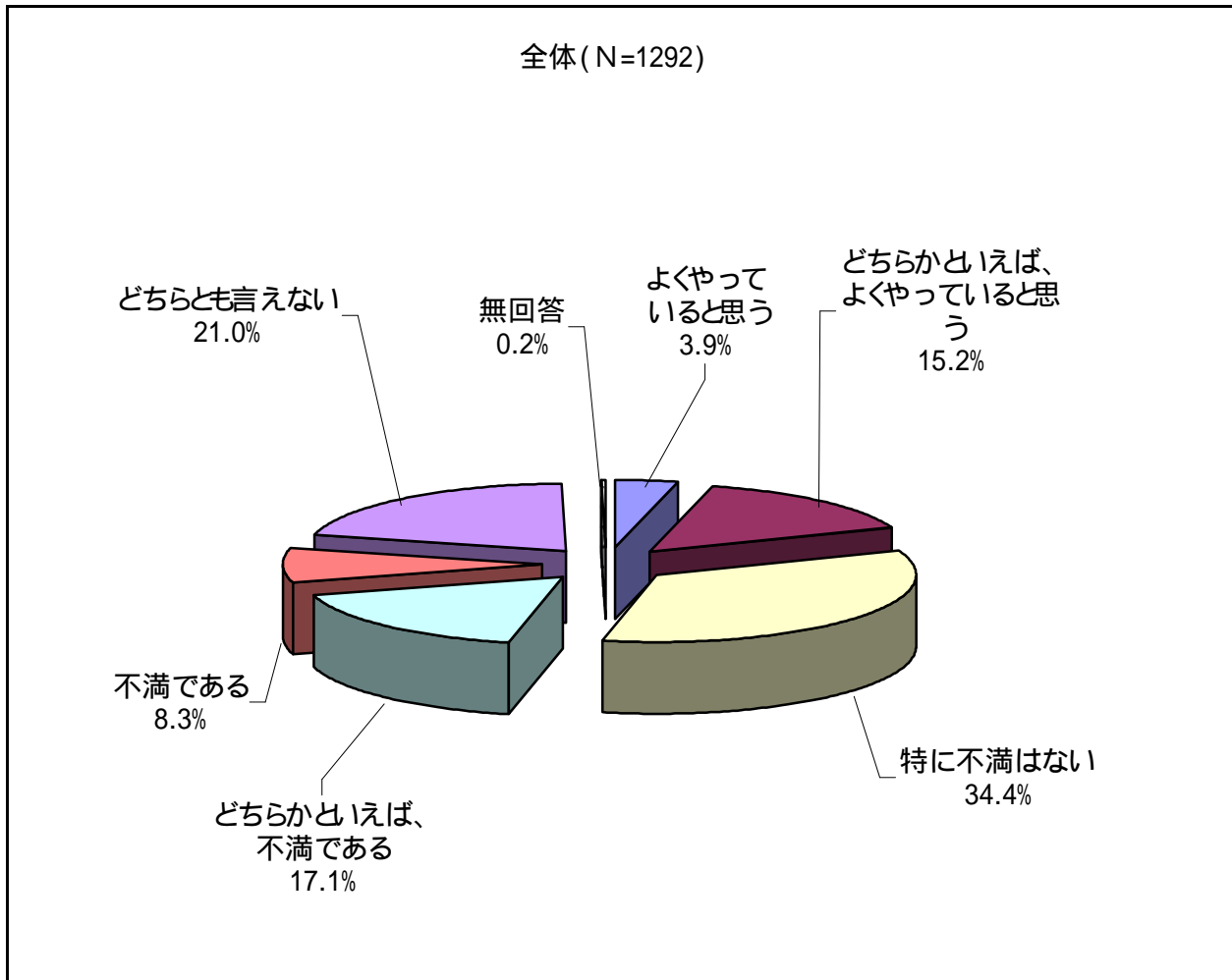
コスト意識：無駄を省き、少ない経費でより多くの成果を生むように意識すること。

市職員の仕事への取り組み方で重要と思うことは、「税金を使っているというコスト意識を高める」が65.9%で最も高く、次いで「前例にとらわれず柔軟に対応する」が47.9%、「市民の生活感覚を意識する」が38.1%と続く。

市職員の仕事への取り組み方で重要と思うことは、「税金を使っているというコスト意識を高める」が65.9%。

## 市職員の仕事への取り組み方の評価

問29 あなたは、市職員の仕事への取り組み方について、どのように感じていますか。次の中から、最も近いものに1つをつけてください。



市職員の仕事への取り組み方の評価は、「特に不満はない」が34.3%で全体の3割を占める。「よくやっていると思う」と「どちらかといえば、よくやっていると思う」を合わせた「よくやっている」は19.1%となり、これに対して、「不満である」と「どちらかといえば、不満である」を合わせた「不満である」は25.4%となっている。

市職員の仕事への取り組み方の評価は、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた「不満である」が25.4%。